鳴鶴鈔附録十

和書門 類
二七七三五 號
一八 八函
一四 架
二五 冊

内閣文庫
和書 類
二七七三五 號
二五 冊
一四三 函
一六 架

内閣文庫
番號 和 27735
冊數 25（25）
函號 143 580

国立公文書館
National Archives of Japan

鳴鶴鈔附録十、

神璽第八

是レ篇中ノ別目ナリ一篇ノ大意、神璽ノ徳ヲ述ブ、
故ニ篇目トス、瓊徳ハ是レ天下ノ仁道ナリ仁者ハ天
下ニ敵ナシ是ヲ以テ他ノ怨侵サザル印ニシテ又臣夷
牟ザル印ナレバ、神器三物ノ中ニ、獨リ神璽ト
名ク、以アルカナ、三器第七ニ次テ、第八ニ當ルナリ、

其ノ八坂瓊以ニ左右ノ手ニ中持真持、

此ノ篇ニ神璽ノ靈徳ヲ述玉ヘリ、天孫ノ尊降臨ノトキ、

明治十三年購求

天照太神ハ八坂瓊ヲ以テノ其ノ德ヲ詔リシ玉フ其ノ詔宣
至テノ精密ナリ是ノ章ハコレ其ノ詔リナリ八坂瓊トハ其ノ
解前注ニアリ以テ左右ノ手ヲトハ左右ノ手ヲ相合スル
ナリ中ツ持真持トハ如意珠ヲ掌中ニ持ナリ邊持ニ
アラザルヲ中持ト云フ虛持ニアラザルヲ真持ト云フ
ナリ

左ハ陽德是レ仁右ハ陰德是レ義合テ之ヲ為ス一ト故ニ云
以テ左右ノ手ヲ其ノ合スル一ニ何ゾヤ也王ハ上ニ在テ大ニ而兼ヌ細ヲ
臣ハ下ニ在テ細ニ而兼ヌ大ヲ是レ也是レ所以ニ表シ異ヲ底ス融ヲ

也中ノ之言ハ避ケテ偏ヲ而要ス中ヲ故ニ云フ中持真持ノ之言ハ
避ケテ假ヲ而要ス真ヲ故ニ云フ真持合シ一ニ避ケ偏ヲ要ス真ヲ是レ
皆中道ノ之謂也是レ斯ハコレ唯理ニテ而非ス言ニ唯行ニテ而
非ス訓ニ是ヲ為シテ本ト地ヲ而發ス左敎ヲ也而已
是レ聖皇ノ御釋ナリ御釋三ツトス左ハ陽德ト云フ
ヨリ底ス融ヲ也ト云フマテハ経文以テ左右手ヲスル解ナリ中ノ之
言ト云フヨリ中道ノ之謂也ト云フマテハ中持真持ノ
解ナリ是ハ斯レト云フヨリ以下ハ是皇天ノ敎ハ理事
倶敎ナル義ヲ述玉ヘリ左ハ陽德是レ仁右ハ陰德是レ

義トハ人ト身ハ天地ヲ以テ造ル天地ハ總テノ
本人ト身ハ別テノ末ナリ故ニ天ト圓ノ頭ヲ地方
ノ足天隱山ノ背天ノ南海ノ腹ト云フ是レ乃チ
南面ノ德ニ合スルナリ是ノユヘニ左ハ東ニシテ
陽德木仁トシ右ハ西ニシテ陰德金義トスルナリ
合之爲一トハ仁ハ天ノ覆テノ轉ガゴトシ義ハ地ノ
載テ定ルガゴトシ天ハ其ノ中ニ地ヲ持ツ地ハ天ノ中ニ
在リ天ト地ト氣異ニシテ其ノ元ハ一ツナリ仁ハ義ヲ
有テ元タリ義ハ中ニ在テ端ヲ立ツ仁ト義ト異ヲ

端ニシテ元一ツナリ其ノ元ニ住テ其ノ端ヲ行フヿハ
則チ片行ナシコレヲ合セ一トスルユヘンナリ故ニ云フ
左右手トハ經文ヲ解スルノ結語ナリ其ノ合一
何也トハ問ナリ借ニ問テ次ニコレヲ解釋シ玉フナリ
王ハ上ニ在テ大ニ而兼細トハ大トハ大法大格ナリ細トハ
委細條目ナリ王者ハ君上ニシテ天下ノ大綱
ナリ故ニ大ニ在テ細ヲ兼ト云フナリ臣下ハ在テ細ニ
而兼ヌ大トハ諸臣下民ハ委細ノ條目ニ在テ大
法大格ヲ兼ルナリ是也トハ兼上テコレヲ結ブナリ是所

以表ハ異底ハ融也トハ表ハ外ナリ底ハ致ナリ言フ心ハ
君臣細大其ノ端表ヲ異ニストイヘトモ天地仁義其ノ
致底ヲ和融スルナリ又仁ハ是レ君位ナリ故ニ
君者ハ先施シテノ義コレニ尋義ハ是レ臣位ナリ
故ニ臣者ハ先ツ行テ仁コレニ尋ク是ユヘニ其ノ致ルニ
及ニテハ一ツナリ中之言ハ避偏而要中故ニ云フ中持ト
トハ中ノ言タルヤ偏側邊邪ヲ避去テノ中正ヲ要
スルナリ是レ元一ヲ欲スルユヘンナリ陰陽ノ
元天地ノ元人倫ノ元法令ノ元世間ノ元

皆コレ一大極ニ始リ一奇ニシテノ偶ナシ是レ中トスル
所以ンナリ故ニ中持トヱフナリ眞之言ハ避假而
要眞故云ニ眞持トハ眞ノ言タルヤ假借不實ヲ
避去テノ眞實ヲ要ズコレ天眞ノ眞天正ノ正ヲ
欲スルユヘンナリ是レ亦元一ナリ故ニ眞持ト
云フ合一トハ元一ヲ得ルナリ避偏要眞是皆中
道之謂也トハ偏片ヲ避去眞實ヲ求要ヿハ是
皆唯中正ノ道ヲ謂フナリ中道ヲ尊ヿ神道
ノミニ非ス儒釋ノ敎トイヘトモ皆是レ中道ナリ

国立公文書館
National Archives of Japan

終日ノ百事モコレニ止ルトキハ則チ昧ス盡
月ノ千物モコレニ止ルトキハ則チ曲ズ是レ唯中正
ノ道ニアリ是斯理而非言トハ自爾タル元理ニ
シテ辨ヲ好ノ空言ニアラザルナリ唯行而非訓
トハ唯日用ノ嚴行ニシテ有敎無人ノ空訓ニ
アラザルナリ是爲本地而發左敎也トハ此ノ中眞
ノ義ヲ以テ本元ノ地トシテ次下ノ左敎ヲ發ス
ナリ而已トハ餘リナキノ詞ナリ

而

押左ノ元指曰太惠之常惠惠

凡ソ手ノ五指ヲ元指首指高指腰指尾指トエフ
又コレヲ五行ニ宛テ木火土金水トス元指ハ大指ナリ
コレヲ拇指トエフコレヲ木ノ指トス首指ハ次指ナリ拇
指ヲ除テ次四指ノ首ナリ故ニ首指トエフコレヲ火指トス
高指ハ中指ナリコレヲ土指トス腰指ハ無名指ナリ
コレヲ金指トエフ尾指ハ小指ナリ五指ノ中大指ヲ頭
トシ小指ヲ尾トスルナリ故ニ尾指トエフコレヲ水指ト
スルナリ又木火土金水自ラ五常ノ義アリテコレヲ
仁智義禮信トス木ハ仁火ハ智土ハ信金ハ義水ハ

禮ナリ太惠之常惠惠トハ太ハ古ノ泰ノ字ナリ又
太極太玄太一太初ナド云フニ用ヒテ小ニ對スルノ大ニ
アラサルコヲ別ツナリ左ハ陽位ナリ故ニ太ヲ以テシ元
指ハ木仁ノ支ナリ故ニコレヲ仁惠ニアテヽ赦ヲナシ玉フ
ナリ惠ハ慈ナリ賜ナリ是レ仁ノ切ナリ常ハ經ナリ
常恒不變ノ義ナリ常惠ニ惠トハ仁惠ノ不變ノ義
ナリ

左リ不動王位正德也故ニ其ノ言皆以テ太ヲ也元
指木仁是レ仁惠之支常惠者仁愛ノ不變ニ減セ
也可變非王者之仁ニ可減非君子之仁ニ
是レ聖皇ノ御釋ナリ左ハ陽德ニシテ君位ナリ
故ニ不動王位ノ正德ト云フ故ニ其ノ言皆以テ太ヲ王者
ハ大ニ在テ細ヲ兼ルナリコノユヘニ其ノ言詞ミナ太ヲ
以テスルナリ元指ハ木仁是レ仁惠之支トハ元指ハ
始ナリ大指ト云フ木ハ東方ニ位シテ春ノ時ニ
アタリ万物ノ始メナリ仁ハ五常ヲ總テ万善ノ
長ナリ支ハ分ナリ掌ヨリ五指ヲ分ツ故ニ支ト云フ
今元指ヲ以テコレヲ木仁ニ宛テ以テ仁惠ノ支ニ配スル

国立公文書館 National Archives of Japan

ナリ常恵トハ常ハ常經不變ノ義恵ハ仁徳成
功ノ用ナリ仁ハ猶天地ノゴトシ天ハ即チ旋轉ノ
覆育地ハ即チ定鎮ノ載養ナリ故ニ仁愛ハ變
滅スベカラザルナリコレヲ常恵トエフ可變非王者
之仁トハ王者ハ仁ヲ以テ體トス所謂人ノ君ト
シテハ仁ニ止ルナリ豈ニ仁恵ヲ變ゼンヤ故ニ可變
非王者之仁トエフナリ君子ハ仁ヲ以テ心トス何ゾ
仁愛ヲ變滅セン故ニ可滅非君子之仁トエフ
ナリ

次ニ押首指而曰太覺之愛覺覺
首指トハ二指ナリ四指ノ首ナリ故ニ首指トエフ是レ
火智ノ支ニシテコレヲ智覺ニアツ覺ハ知ナリ悟ナリ
明ナリ曉ナリ又覺ハ知ノ體ナリ太覺ハ寛大綱知ノ
覺明ナリ愛ハ憐ナリ恩寵仁恵ナリ又親ミ至テ心ヲ
結ヲ愛トエフナリ愛覺ハ仁曉ニシテ人ヲ愛シテ人ヲシテ
悟覺セシムルナリ上ノ覺ハ吾カ恵知ナリ下ノ覺ハ他ヲ
シテ悟ヲ得セシムルナリ
首指ハ火智是智覺之支ナリ愛覺者智悟不ハ惡ニ

愛也。不ルハ愛セ非ス王者ノ之智ニ、可キハ惡ム非ス君子ノ之智ニ。
是レ聖皇ノ御釋ナリ。首指ハ南方ノ支ニシテコレヲ
火智ニ宛ツ。南方ハ夏ノ時ニシテ盛大ノ首ナリ。智ハ智
ナリ。心ニ知ル所アルナリ。又明照識記ノ義ナリ。智覺
ノ支トハ支ニ配シテ理ヲ示スナリ。愛覺者智悟ニシテ不ル
惡愛也トハ吾ガ知覺ノ明德ヲ以テ人ヲシテ
コレヲ悟覺セシム。故ニ人ノ非ヲ惡ムコトナク恩惠ヲ
布キ平寛ヲ布シテコレヲ愛シコレヲ曉スナリ。是レ吾明
ナルヲ以テ人ニ及スナリ。王者ハ仁愛ヲ以テ智トス。

君王アニ不仁ナランヤ。故ニ不ルハ愛セ非ス王者ノ之智ニト
云フ。君子ハ又仁惠ナルベシ。故ニ可キハ惡ム非ス君子之
智ニト云フナリ。

次ニ押テ高指ヲ而曰ク太誠之慈誠誠。

高指ハ中指ナリ。是レ土信ノ支ナリ。コレヲ信誠ニ宛ツ。
誠ハ信ナリ。眞實無妄ナリ。コレ信ノ性ナリ。慈ハ
愛ナリ。上下ヲ安ズルノ詞ナリ。又仁愛ナリ。太誠トハ
仁寛大度ノ眞誠ナリ。慈誠ノ誠トハ王者ノ信誠ハ
慈愛美甘ナリ。諒信ノ信ニアラス。コレヲ以テ

自ヲ誠ニシ、コレヲ以テ人ヲ誠ニスルナリ。
高指土ハ信是レ信誠之支ナリ。慈誠者信寔美甘
者也。非ハ美非王者之信ニ非ハ甘非君子之信ニ
是レ聖皇ノ御釋ナリ。土ハ中央ニ位シテ高秀ノ
體ナリ。信ハ寔實ニアツテ眞誠ノ義ナリ。故ニ高
指ヲ以テコレヲ土信ニアテヽ、以テ信誠ノ支ト
スルナリ。慈誠者トハ信寔美甘者也トハ好美和甘ノ
信寔コレヲ慈誠トユフトナリ。非ハ美非王者之
信トハ王者ハ慈愛ヲ以テ信ヲナスナリ。故ニ
非ハ美非王者之信ト云フ、君子ハ又和信ナリ。
故ニ非ハ甘非君子之信トユフナリ。

次ニ押テ腰指而曰太克之悲克克

腰指トハ無名指ナリ。コレ金義ノ支ナリ。コレヲ義克ニ
アツ。太克トハ克ハ勝ナリ。義ノ用ナリ。大綱大格ノ義
克コレヲ太克トユフ。悲克トハ悲ハ惻ナリ。哀愁
ナリ。義克ノ悲哀ヲ離レサル、コレヲ悲克トユフナリ。
腰指金義是レ義克之支ナリ。悲克者義制不離
悲也。不ハ悲非王者之義ニ。可ハ離非君子之義ニ。

是レ聖皇ノ御釋ナリ、金ハ西方ニ位シ、秋殺ノ象、義ハ守斷ヲ主リテ克制ノ理ナリ、故ニ以テ腰指ヲコレヲ金義ニアツルナリ、悲克者トハ云フヨリ下ハ悲克ヲ釋スナリ、義制不レ離悲トハ、義直裁制スベキ者ハ理ノ如ク義直裁制ストイヘドモ、其ノ心慈愛悲憐ヲ離レサルコレヲ悲克ト云フナリ、不レ悲非ス王者之義ニトハ王者ハ悲慈ノ情ヲ以テ義ヲナス、故ニ不レ悲非ス王者之義ニト云フ、可レ離非ス君子之義ニトハ君子豈悲憐ヲ離ニヤ、故ニ可レ離非ス君子之義ニト云フナリ、

次ニ押テ尾指ヲ而曰太節之惻節節、

尾指トハ小指ナリ、是レ水禮ノ支ナリ、コレヲ禮節ニアツ、太節トハ節ハ竹ノ約節ナリ、節ハ禮ノ相ナリ、大洪大道ノ天節コレヲ太節ト云フ、惻節トハ惻ハ愴ナリ、慈惻ノ情ヲ以テ節スルナリ、コレヲ惻節ト云フナリ、

尾指ハ水體是レ禮節之支ナリ、惻節者禮儀止ニ惻施也、非レ惻ハ非ス王者之禮ニ、不レ止ハ非ス君子之禮ニ、

是レ聖皇ノ御釋ナリ、水ハ北方ニ位シ禮和ノ體ナリ、禮ハ万事ヲ和ケ、節儀ノ理ナリ、故ニ尾指ヲ以テ、コレヲ水禮ニアツ、惻節者ト云フヨリ下ハ惻節ヲ釋スナリ、禮儀止惻施也トハ禮節威儀ハ惻隱ノ仁施ニ止ルナリ止ルトハコヽニ住止スルナリ、非惻非王者之禮トハ王者ハ慈惻ヲ以テ禮ヲナス、故ニ非惻非王者之禮ト云フナリ、君子何ニツ惻施ニ止ザランヤ故ニ不止非君子之禮ト云フナリ、

遂押手掌而曰太徳之撫徳徳、

遂ニハ終ナリ、手掌トハ手ノ中ナリ太徳トハ徳ハ得ナリ道ヲ内ニ積善ヲ外ニ錬テ得テ以テ失サル是レナリ、圓徳ノ備徳コレヲ太徳ト云フナリ撫徳トハ撫ハ摩ナリ慰勉安存ノ義ナリ、身極徳ニ住リ餘功民養ヲ徳ナリ、手掌ヲ以テ圓徳ニアテヽ以テ其功ヲ極ルナリ、

手掌極徳是徳圓之支撫徳者徳功之養育者也不養非王者之徳不育非君子之徳、

是レ聖皇ノ御釋ナリ手ノ掌ハ五支ノ元綱ナリ
徳ハ五常ノ總極ナリ故ニコレヲ徳圓ノ支ニアツ
撫徳者ト云フヨリ下ハ釋ナリ徳功之養育者也
トハ功ト云フハ徳内ニ成テ化外ニ布テ事ヲ悔ナキニ
終フ是レナリ養徳育功仁ヲ全ミ國家ヲ撫育スル
ナリ尤教ハ君徳ナリコノ故ニ五徳皆仁恵ヲ以テ
コレヲ詔シ玉フナリ仁ハ百善ヲ總テ常ニ存〆心タリ
知ハ善惡ノ紛ヲ別テ仁ニ副テ常ニ在義ハ善ヲ
立テ惡ヲ制シ仁ニ對シテ常ニ在禮ハ惡ヲ節ニシテ人
惡ヲ廢善ヲ節ニシテ善ヲ興シ仁ニ因テ常ニ存ス
信ハ四徳ヲ誠ニシテ仁ノ實ナリ知ルヘシ仁ハ五常ヲ
總五典ヲナス其至ルモノハ即チ聖ナリ是レ乃チ
道ハ仁ニアルナリ功成テ國家ヲ撫育スルハ王者ノ
徳ナリ故ニ不養非王者之徳ト云フ功成テ人ヲ
養育スルハ君子ノ徳ナリ故ニ不育非君子之徳
ト云フナリ
六者皆以太是大法不差大格不紛王者
之道也陽王天下綱先住五徳大綱正貞

而及ニ條目ニ
六ト者ト云フヨリ以下ハ左敎ノ總釋ナリ惠覺誠
克節德ノ六ツノ者皆太ヲ以テスルナリ大法トハ天
地ノ法則ナリ毫モ差フトキハ則チ王者ノ道ニアラス
大格トハ君王ノ格極ナリ點モ紛ルヿハ君者ノ道ニ
アラス左敎ノ六敎ハコレ君王ノ大法大格ナルカユヘニ
太ヲ以テ詔リシ玉フナリ王者ハ道ヲ陽天ニ則ル
故ニ陽王ト云フ又是レ國家ノ主宰ナリ故ニ天下ノ
綱ト云フ五德トハ仁智信義禮ナリコレニ住止スルヲ

五德ト云フ是レ乃チ道ノ大綱ニシテ天ノ中正貞
固ナリ君者ハ其ノ大綱ニ住リ尋テ万箇ノ條目ニ
及フナリ

又押ニ右ノ元指曰細惠之宏惠惠
右ハ陰德ニシテ臣位ナリ元指ハ又大指ナリ細ハ小
ナリ微ナリ宏ハ當ナリ理ニ適ヲ云フ細惠トハ其惠施
微細ニシテ當然ノ宏ニ任ナリ自宏惠ニ居テ人ヲ
宏惠ニ化スルナリ

右ハ克働臣位從德也故ニ其ノ言僉以テ細ツ也元

指ハ又仁是總惠之支宜惠者トハ仁慈任ニ當然ニ
也非ハ然ニ非公者之惠不任非官者之惠ニ
是聖皇ノ御釋ナリ右ハ陰德ニシテ臣位ナリ故ニ
克ク働キ動クナリ以テ君位ニ從フ故ニ從德ト云フ
故ニ其言僉以細也トハ僉ハ皆ナリ皆コレ君德ノ
太ニ對シテ其詔敕ミナ悉ク細微ヲ以テスルナリ
仁ハ五常ノ總ナルカユヘニ元指ヲ以テ總惠ノ支ニ
アツ宜惠者ト云フヨリ下ハ宜惠ヲ釋スナリ仁慈任ナリ
當然也トハ仁惠慈施當然ノ宜キ所ニ任セテ行フナリ

非ハ然ニ非公者之惠トハ然ハ當然ナリ公者ノ公卿
大夫ナリ公者ハ其仁惠理ノ當然ニアリ故ニ非然ハ
非公者之惠ト云フナリ惠トハ仁ノ功ヲ言フ
官者ハ司官宰職ナリ官者ハ其愛惠唯コレ
當職ニ任ルニアリ故ニ任ルハ非官者之惠ト
云フナリ

次ニ押首指又曰細覺之理覺覺
首指ハ又二指ナリコレ大智ノ支ナリ故ニコレヲ別覺ニ
アツ細覺トハ覺知ノ委細ナルナリ理覺トハ天理ノ

法覚ニシテ、邪曲偏僻ナキナリ。天理ノ如ク己ヲ悟覚シ、
聖理ノ如ク人ヲ暁覚スルナリ。
首指又智是別覚之支理覚者智知無邪
僻可邪非公者之覚可僻非官者之覚
是レ聖皇ノ御釋ナリ。首指又智トハコレヲ南方火
智ニアツルナリ。是別覚之支トハコレヲ辨別覚明ノ
支トスルナリ。理覚者ト云フヨリ下ハ理覚ノ解ナリ。
智知無邪僻也トハ智明ノ識知スル所邪佞偏
僻ノ害ナキナリ。智ハ心ニ有ル所ノ知ルナリ。是レ

知ノ性ナリ。知ハ覚ナリ。口矢ノ聲ニ从フ。理ヲ知ルノ
速ナルコト矢ノ疾ガ如シ。故ニ矢ニ从フナリ。是レ智ノ相
ナリ。智知トハ性ト相ナラヘテコレヲ言フナリ。公者ハ
其ノ覚識智知明正ナルベシ。故ニ可邪非公者之
覚ト云フナリ。官者ハ其ノ知覚直正ナルベシ。故ニ可
僻非官者之覚ト云フナリ。
次ニ押高指又曰細誠之忠誠誠
高指ハ又中指ナリ。細誠トハ其ノ誠信ノ委細ナルナリ。
忠誠トハ忠直ナリ。無私ナリ。内其ノ心ヲ盡シテ欺カザル

ナリ、コレ言フコヽロハ、忠直信誠ニシテ、己レヲ誠ニシ、人ヲ
シテ信實誠恂ナラシムルナリ、
高指ハ又信、是レ特誠之支、忠誠者信恂無私
妄也、可ハ私ニス非ス公者ノ之誠ニ、可ハ妄ニス非ス官者ノ之誠ニ、
是レ聖皇ノ御釋ナリ、高指ハ又信トハコレヲ中央土信ニ
アツ、是レ特誠之支トハ特ハ專ナリ、コレヲ專特誠實
ノ支トスルナリ、忠誠者トイフヨリ下ハ忠誠ノ解ナリ、
信恂無私妄也トハ專信恂實ニシテ、毛私妄侫ノ
僻ナキナリ、公者ハ其恂誠公忠ナルヘシ、故ニ可私ニス

非ス公者之誠ニトイフナリ、官者ハ其專信實ニ正
ナルヘシ、故ニ可妄非官者之誠トイフナリ、
次ニ押腰指ヲ又曰、細克之慮克克、
腰指ハ又四指ナリ、是レ金義ノ支ナリ、故ニコレヲ禁克
ニアツ、細克トハ義克ノ委細ナリ、克ハ勝ナリ、己ニ克ヲ
云フ、コレ義ノ用ナリ、慮克トハ慮ハ謀ナリ、思ナリ、思ヒ圖トコロ
アルヲ、慮トイフ、思慮シテ以テ己ニ克、又人ヲシテ義克ナラ
シムルナリ、
腰指ハ又義、是禁克之支、慮克者義惡無肆

傲也、可肆非公者之克、可傲非官者之克、
是レ聖皇ノ御釋ナリ、腰指又義トハ、コレヲ西方金義
ニアツ、是禁克之支ナリトハ、コレヲ制禁義克ノ支ト
スルナリ、慮克者トニフヨリ下ハ慮克ノ解ナリ、義悪
無肆傲也トハ、悪ハ憎ナリ、肆ハ恣ナリ、傲ハ慢ナリ、
義直ハ必ス非ヲ悪ムトイヘトモ、公者官者ノ克ハ思慮
細克ナリ、言フコヽロハ身ニ分限アリ、自他ノ謀思、又
委曲ニスヘキナリ、故ニ其ノ義悪ニヲケル、放肆傲慢ナキ
ナリ、是レ君者ノ義悪ニ別ユヘンナリ、公者ハ其克ツヿ、
慮ニ細慮ナルヘシ、故ニ可肆非公者之克トニフナリ、
又官者ハ其克ツヿ精制ナルヘシ、故ニ可傲非官者之
克トニフナリ、

次ニ押尾指ヲ又曰、細節之敬節節、
尾指ハ又小指ナリ、是レ水禮ノ支ナリ、故ニコレヲ厳節ニ
アツルナリ、細節トハ禮節ノ委細ナリ、敬節トハ敬ハ慎
ナリ、謹肅警恭ナリ、節ハ禮ノ相ニシテ威儀ノ節ナリ、
敬欽ヲ以テ己レヲ節ニシ、又人ヲシテ禮節ナラシムルナリ、
尾指又禮、是厳節之支、敬節者禮謙無怠、

忽也可怠非公者之節可忽非官者之節

是聖皇ノ御釋ナリ尾指又禮トハコレヲ北方水禮

ニアツルナリ是嚴節之支トハ嚴ハ謹敬ナリ威重ナリ

コレヲ嚴重禮節ノ支トスルナリ敬節者トイフヨリ下ハ

解ナリ禮謙無怠忽也トハ禮ハ天理ノ節文謙ハ

辭讓遜退ノ義ナリ怠ハ懈ナリ忽ハ輕ナリ言コヽ

ロハ公者官人ハ欽節謙恭ナルヘキナリ故ニ万事

怠倦輕忽ニスルヿナキナリ公者ハ其禮以テ嚴敬

ナルヘシ故ニ可怠非公者之節トイフ又官者ハ其

禮謙欽ナルヘシ故ニ可忽非官者之節トイフヿナリ

遂押掌心又曰細德之任德德

遂ハ終ナリ掌心トハ手ノ中ナリ細德トハ委細ノ盈

德ナリ任德トハ德當然ノ理ニ任テ足ズトイフヿナキ

ナリコレヲ以テ我德ヲ德トシ又人ヲシテ德ニ任シムル

ナリ

掌心ハ又德是盈德之支任德者得德不未

足也不足ハ非公者之德可未非官者之德

是聖皇ノ御釋ナリ掌心ハ又德トハ德ノ義前解ニ

詳ナリ、掌ハ五支ノ本ナリ、徳ハ五常ノ總ナリ、コヽヲ
以テ掌ヲ徳ニアテヽ盈徳ノ支トスルナリ、盈ハ滿ルナリ、
任徳者トイフヨリ下解ナリ、得レ徳不レ未レ足也トハ、
徳己ニ滿テヽ意ヲ發ストキハ則チ徳ニヨコシ、身ヲ使フ
トキハ則チ徳ニツカヘ、口ヲ開ツトキハ則チ徳ニヒラクノ万事
皆徳ニアラストイフコトナシ、是レヲ徳ノ功トイフ、其ノ功
歸テ徳ヲ見スナリ、初徳ヲ自徳トイフ、後徳ヲ盛
徳トイフ、自ト盛ト既ニ成ルヲ、眞徳トイフ、徳ノ用ヲ
自功トイフ、徳ノ成ヲ成功トイフ、自ト成ト皆成

ヲ眞功トイフ、眞功成テ眞徳位スルナリ、是レ乃チ
任徳盈徳ニシテ足ズトイフコトナキナリ、公者ハ盈徳
ナルヘシ、故ニ不レ足非二公者一之徳トイフナリ、官者ハ
任徳ヲ得ヘシ、故ニ可レ未レ非二官者一之徳トイフナリ、
未ハ猶不ノコトノナリ、
六ツノ者ハ僉以テレ細ヲ是レ物物委シ通事事艶達スル臣者ノ
之道也ナリ、
六ツノ者以下ハ右教ノ總釋ナリ、惠覺誠克節徳ノ
六ツノ者僉細ヲ以テスルハ、細ハ委細ナリ、右教ヲ詔シテハ、

臣ノ道ヲ示シ玉フナリ是レ物々委通トハ物々ハ万物
ナリ委ハ委曲ナリ臣者ハ万物ノ理ニ於テ委曲ニ
通徹スヘシ君者ノ大綱ヲ云フニ同シカラズ事々艶
達トハ艶ハ美ナリ容色豊満ヲ艶ト云フ事々トハ
万事ナリ言フコヽロハ万事委曲ニ美艶貫達スル是レ
公者官者ノ達道ナリ是故ニ其詔リ僉細ヲ以テ臣
者ノ通道ヲ敎ヘ玉フナリ是レ又聖皇ノ御釋ナリ
陰臣國目先格五德條目格致而及大綱
是レ又聖皇ノ御釋ナリ臣者ハ道ヲ陰地ニ則ル故ニ

陰臣ト云フ又是レ國家ノ節目ナリ故ニ國目ト云フ
是故ニ能信ヲ努テコレヲ得ニ肇テ德ノ名ヲ得
禮ヲ得テ德ヲ美シ義ヲ得テ德ヲ清クシ智ヲ得テ
德ヲ明ニシ仁ヲ行テコレヲ得テ終ニ全ク以テ德ヲ
德トシ沖莫ニ帰シテコレヲ盡スナリ是レ先五德ノ條
目ヲ格ナリコレヲ盡シテ物ヲ格知ヲ致テ以テ大綱ニ
及ブナリ蓋夫皇天ノ論ハ都テコレ事ヲ表シ其理ヲ
將ノ靈敎ナリ中ニ就テ一寶ハ三器神璽ノ三篇ハ
事ヲ表シ理ヲ將フ最以テ精詳ナリ故ニ事理俱敎

ト云フ學者宜クコレヲ玩味スヘキナリ

道數第九

道トハ倫道獨道ナリ數トハ陰陽生尅ノ數ナリ天數ニ則テ心極ノ中位ヲ演數理ニ則テ中道ノ元位ヲ明スナリ是レ二儀三部ノ德倫獨文武ノ功ヲ以テ普ク道料ヲ竭ズトヽフヿナキユヘンナリ故ニ道數ヲ安此ノ経ヲ終神璽第八ニ次テ第九ニアメルナリ此章ハ先天本紀ニ出ツ

倫道數ハ是レ生ナリ順轉ノ五十五

倫道ノ數トハ天神七代倶生偶生ノ神ナリコレヲ倫道ノ神トヽフ此ノ神自ラ數ヲ成スコレヲ倫道ノ數トヽフナリ是生トハコノ數相生ノ數ナリ順轉五十五トハ一ト六ト三ト八ト二ト七ト五ト十ト四ト九ト方生ノ數ヲシナス順轉シテ五十五ナリ

帝后倫神自ラ成ス數天ノ北ノ一生水ヲ地南ノ二生火天東三生木地西四生金天中五生土地北六成水天南七成火地東八成木天西九成金地中十成土都合テ其ノ數五十有

五從北於東順轉水生木從東轉南木生
火南中火生土中西土生金轉西于北金
生水生行從左如右名之爲順轉天命過
餘五其極有道哉

是レ聖皇ノ御釋ナリ、帝ハ君ナリ、上帝ハ天之神
ナリ、主宰ヲ以テコレヲ帝ト云フ、易ノ鼎ノ象ニ、聖人亨
以亨上帝、コレ天神ヲ亨スルナリ、后モ君ナリ、後ナリ、天
子ニ後テ後亂ヲ廣ルナリ、帝大君ト訓シ、后ヲ小君ト
訓ス、陽神ヲ帝神ト云、陰神ヲ后神ト云フナリ、

今謂トコロノ帝トハ、天神七代ノ皇帝ナリ、后トハ、
五代ノ后神ナリ、是レ倶生偶生ニシテ、奇獨ノ神ニ
アラス、自ラ五倫ノ道ヲナス、是レ王道ノ祖ナリ、又
倫道ト名ク、故ニ倫神ト云フ、神又數ヲ持ス、故ニ
自成數ト云フ、成數ノ義、次下ニ詳ナリ、七代ノ帝后、倫道ヲ
ナスユヘニハ、天祖ハ元君ナリ、天尊出テ、臣ト称シ玉フ、蓋シ
君臣ノ倫アリ、第一代、天皇天常立尊、天帝天御中主尊、
此二神倶生神ナリ、蓋シ兄弟ノ倫ノ如シ、後ノ六代、
次第シテ、五倫ヲ生ス、二代ノ天皇地常立尊、天帝豊
御地主尊、此二神コレ唯、男質ニシテ女質ナシ、惟ソノ
倶生ニシテ、他倫ナシ、コレ朋友ノ如シ、三代天帝長
遂來居尊、天后幾活來居尊、コノ神ハ、男神女相
ナリ、始テ婦人ノ萠ヲ生シ、帝トシ后トス、夫婦ノ倫ノ如シ、

第四代天帝得日道丹尊天后爲日道丹尊第五代
天帝大留彦尊天后大留婦尊第六代天帝扇賢亞
音尊天后絞賢亞音尊各偶生ノ神ニシテ皆夫婦ノ
倫ナリ第七代天帝去來諾尊天后去來冊尊コノ神
夫婦始テ婚合シ生産ノ事ヲ成スコレ父子ノ倫ノ元ナリ
是ノユヘニ天神七代コレヲ倫道ノ神ト云フナリ
天北ノ一生水ヲトハ凡ソ四天ノ成喪數理ニヨラス
ト云フヿナシ是ノ故ニ神天一タ數理ニ依テ出現ス
空天ノ時本數十五コレヲ天祖ノ數ト云フ一二三
四五合シテ十五ナリ天ノ一中ニアリ是レ元水
先ツ天地ヲ興シ天地皆水ナルヿヲ見ス空天ノ量七百二十
万歳ノ後ノ百八十万歳ノアヒタ其ノ間中中然ナリ次ノ
閑天ノ九百万歳ノ鼻漸ク時イタリテ肇テ

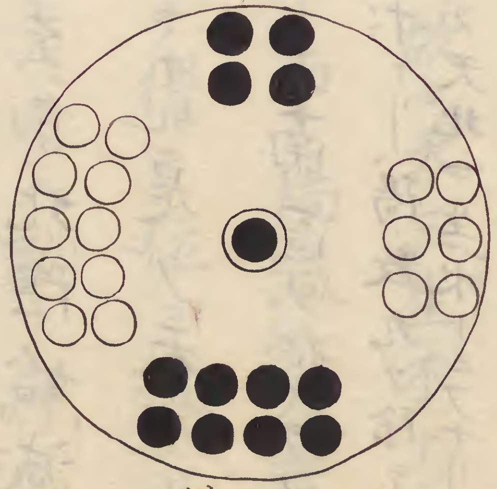
芽萌ヲ生ス天祖ノ躬ノ氣久ク虛ニ流レテ神集ニ
アタリテ復天地ナルナリ肺金秀張テ大虛ニアリ色ナク
シテ强堅ナリ包ルノ四氣ヨクツヽムノ金氣ニアタリテ
而モ五氣一ニ帰シテ自然ト先ツ濕ヲ生スコノユヘニ天
地ヲ興スノ始メ
天地ミナ水ナリ地ノ二北ニアリ北ノ陰ノ位ヲ定ムルナリ
濕ヒ火氣ニアタリ次ニ動氣ヲ生ス火氣風ヲ得テ發テ炎ヲ
生ス以テ虛ニ熱シ水氣ハ火ノタメニ濁サレ木氣ハ火ノ
タメニ焼レ金氣ハ火ノタメニ化サレ土氣ハ火ノタメニ疑サレ
金氣ハ土ニ會テ相集リ色ナクシテ氣アリ位ナクシテ化
アリコレ五行ノ生本ナリ又コレ元陽元陰ナリ變ヲ以テ
陰トナリ易ヲ以テ陽トナリ唯コレ止ス又コレ泯スコレヲ
元極ト名ク元ハ必ス標ヲ生ス
陰陽遂ニ發テ又天地ヲナスナリ天ノ三東ニアリ風春ノ
德ヲ定ム四時万行ミナコレニ依テ始ル地ノ四
南ニアリ陰ヲ發スノ理ヲ定ム南ノ左ハ地ノ位ナリ

天ノ五西ニアリ金ハ五行ヲ包ミ堅ク張テ天ヲ成ス西ハ天ノ位ニアリ如キ是ノ理中ニ在テ含メリ又中ノ天ハ北ヲ生シ北ハ東ヲ生シ順轉シテ東ヨリ南ニ旋リ南ヨリ西ニ旋リ西ヨリ北ニ轉シ數ノ序ニ依テ順轉シテ相生ノ理ミナ先ツ含ムナリ

本數十五順轉圖

先天ノ數ハ元ニ帰シテ乃チ後天ノ芽サシヲ含ミ中央ハ四方ニ王タリ故ニ四方已レヲ加フナリ

四方加テ已ニ總數得二十有九是レ中數ナリ



中ハ王トシテ四方ニ而モ領ス四方ヲ故ニ以テ四方ヲ加テ已ニ為ス數ヲ

東西南北ハ是レ土司ナリ各已レカ五ヲ加ヘテ中數トスコレ臣ハ王ニ貢スル理ノ自然ナリ九十九數ヲナシテ以テ天尊ノ極トスルナリ

北方ノ本數ハ一ツナリ各已ガ

五ヲ加ヘテ十數ヲ得ル東方ノ本數ハ三ナリ各々五ヲ加ヘ
十五トナル南方ノ本數ハ四ツナリ各々五ヲ加ヘテ二十トナル
西方ノ本數ハ五ナリ各ハ五ヲ加ヘテ二十五ナリ四方相合テ
七十數ナリ中央ノ二十九ヲ加ユルトキハ九十九數トナル
コレ空天九百万歳ノ終リ九十九万歳ノ
數ナリ以テ天尊ノ極トシ天地開闢スルナリ天北ノ一生水ヲ
トハ天ノ成ルトキニ至テ北ノ陰始テ減陰ハ陽數ヲ
除テ變シ一陽トナル是レヲ天ノ一生水ト云フ是レ
天祖ノ位ノ極ニシテ南面ノ德ヲ施スナリ北方始テ
定ルナリ　北ハ增數十ナリ陽數九ヲ除テ一ヲ得ルコレヲ天北ノ一生水ト云フナリ
地南ノ二生火トハ地ノ成ルトキニ至テ南ノ方ノ陰
次ニ減ナリ陰ハ減ニ陽數ヲ除ク四減テノ二トナル

コレヲ地ノ二生火ト云フ天東ノ三生木トハ天地ノ
序ニヨツテ東ノ陽次テ動ク陽ハ陰ノ數ヲ除ク
而メ元數ニ復ル故ニ天三生木ト云フナリ地西ノ四
生金トハ序ニ憑テ西ノ陽減ル大變シ大ニ化メ陰數ヲ
以テコレヲ除テ四ヲ得テ位ニ復ス故ニ西ノ四生金
ト云フ天中ノ五生土トハ時ニ數ノ序ニ順テ中ニ至ニリ
減ヿヲナス陰ヲ零ニシテ五ヲ成ス故ニ天五生土ト
云フナリ地北ノ六成水トハ復ソノ序ニ憑テ本數ニ
己ヲ加ヘテ十ヲ除テ六ヲ成ス故ニ地ノ六成水ト云フ

ナリ、天南ノ七成火トハ、復ソノ序ニ憑テ本數ニ
已ヲ加ヘテ、十ヲ除テ七ヲ成ス、故ニ天七成火ト云フ
ナリ、地東ノ八成木トハ、復ソノ序ニ依テ本數ニ
已ヲ加ヘテ、十ヲ零テ八ヲ成ス、地ノ八木ヲ成シ、
東方ニ位ス、コレヲ地東ノ八成木ト云フナリ、
天西ノ九成金、復ソノ序ニ依テ、本數ニ已ヲ加テ、
十ヲ除テ九ヲ成ス、天ノ九金ヲ成テ西方ニ位ス、
コレヲ天西ノ九成金ト云フ、地中ノ十成土トハ、爰ニ
四方成テ偏方ナミ、總數ニ由テ、已ヲ加テ、十ニ

依テ以テコレヲ除ク、是ノ如クコレヲ除クトキハ則チ、
竭テ帰スルコトナシ、無ハ乃チ位ニ非ス、コレニ依テ四
方ニアテテ、四十ヲ除キ、十ヲ得ルコレヲ地中ノ十土ヲ
成ストエフナリ、都合其ノ數五十有五トハ、北ノ一、
南ノ二、東ノ三、西ノ四、中ノ五、北ノ六、南ノ七、東ノ
八、西ノ九、中ノ十、總數相ヒ合テ、五十有五ナリ、
從北於東順轉、水生木トハ、北ヨリ東ニ廻リ、
濕和行キザス、氣ヲナス、積テ則チ水ヲ成ス、
コレ水木ヲ生ナリ、從東轉南、木生火トハ、

東ヨリ南ニ廻リ動キ芽ス行勢ノ氣ヲ生ス勢氣
積トキハスナハチ火ヲ成是レ木生火ナリ南中火
生土トハ南ヨリ中ニ廻ル燥燒ノ行垢ノ氣ヲ生ス垢
ノ氣積トキハ則チ土ヲ成スコレ火生土ナリ中ヨリ
西土生金トハ中ヨリ西ニ廻リ塞堪ノ行重氣ヲ
生ス重氣積トキハ則チ金ヲ成ス是レ土生金ナリ
轉西于北金生水トハ西ヨリ北ニ廻リ重ク鎮ノ行
濕氣ヲ生ス濕氣積テ水ヲ成ス是レ金成水ナリ
生行從左如右名之爲順轉トハ五行ノ相生ハ順

廻シテ共ニ生ス旋轉ス是ノ故ニ左ヨリ右ニ如ナリ
是ヲ以テコレヲ名ケテ順轉トスルナリ天命過餘五
其ノ極有道哉トハ五行相生ノ運行能ク天地ヲ
持相續惠育シテ天ノ命スルガ如シ故ニ天命ト云フ
五十八天ノ中數ナリ相生之數ハ五十五ナリ故ニ
五ヲ過餘ト云フ相生ノ極タルヤ窮リナキ數ヲ生シ
又此ノ數ニ依テ常アリ變アリ常ヲ得ルトキハ則チ
其ノ位ヲ得テ生ス是レ正實亭中ナリ變ヲ得テ
以テ生スルトキハ則チ其ノ位ヲ失テ生ス是レ邪虚塞

偏ナリ、善習常氣ヲ受ルトキハ、則チ恵敬安敏ナリ、
悪習變氣ニ合スレハ、荒慢乱愚ナリ、世間ノ万事、
相生ナルトキハ則チ吉ナリ、吉過ルトキハ凶ニ遇フ、數以テ
又理ム、文過テ武ニ及ブ、コレヲ悟テコレヲ行フトキハ、
道コヽニアリ、是レヲ其ノ極、有道哉ト云フ、

獨道ノ數ハ是レ尅、逆旋四十五、

獨道ノ數トハ、天祖又數ヲ持シ、數自ラ法ヲナス、初ニ
一二三、中ニ四五六、終ニ七八九ナリ、是レヲ本數ト云フ、
變化シテ亦一六、七二、九四、三八、五之方尅ノ數
トナルナリ、尅ニシテ逆旋四十五トハ、是レヲ云フナリ、

孤化獨神又成數、天坎一生水、地坤二生
火、天震三生木、地巽四生金、天中五生土、
地乾六成水、天兌七成火、地艮八成木、天
離九成金、其數都合四十有五、從坎乾之
北、旋兌坤之西、水尅火、次第旋於離巽之
南、火尅金、亦復旋于震艮之東、金尅木、旋
于中、木尅土、遂旋北、而土尅水、尅行自右
之左、故爲之逆、

是レ聖皇ノ御釋ナリ孤化獨神又成數トハ
一世獨化天神天ハ降魂尊ヨリ七世天王神
皇産靈尊ニ至ルマテノ七神都テコレヲ孤化獨
神ト云フナリ又獨道ノ數ニ現ル故ニ數ヲ成ト云フ
天坎ノ一生水トハ夫レ獨道ノ數ハ一二三四五六
七八九是レナリコレヲ本數ト云フ先天ノ方位
既ニ竭テ唯四十五數ヲ殘ス天祖ニ依テ理ヲ含
ナリ坎ハ子ノ方ナリ中行ノ下ノ十一數ヲ十ヲ
除テ一數ヲ得ルコレヲ天坎ノ一生水ト云フナリ

地坤ノ二生火トハ坤ハ西南ナリ一ハ二數ヲ原テ
西南ノ六ニ至リ左リノ七右ノ九ヲ取テ二十ヲ除テ
二ヲ致スコレヲ地ノ二生火ト云フ天震ノ三生木トハ
震ハ東ナリ二ハ三數ヲ原テ東ノ十三ニ至リ十ヲ
除テ三ヲ成スコレヲ天震ノ三生木ト云フナリ地巽
四生金トハ巽ハ辰巳ナリ三ハ四數ヲ原テ東南
ノ數ニ至テ十有二ヲ以左ノ九右ノ三ニ合テ二十ヲ
除テ四ヲ成スコレヲ地巽ノ四生金ト云フ天中ノ五生
土トハ四ハ五數ヲ原テ即チ中數ニ至テ四十ヲ

除テ五ニ歸スコレヲ天中五生土ト云フ地乾ノ六
成水トハ乾ハ戌亥ナリ五ハ六ヲ原テ西北ニ至テ
右ノ七左ノ一ヲ將テ十ヲ零テ六ヲ成スコレヲ地六
成水ト云フ天兌七成火トハ兌ハ西方ナリ七ハ
少陽ノ數本數變ゼスシテ西ニ位スコレヲ天兌ノ
七成火ト云フ地艮ノ八成木トハ艮ハ丑寅ナリ六ハ
老陰ニシテ數盡ス八ニ還テ盡ザランヿヲ欲シテ
東北ニ至テ左右ノ數ヲ將テ十ヲ除テ八ヲ成スコレヲ
地艮八成木ト云フ天離ノ九成金トハ離ハ南方ナリ

九ハ老陽ノ數變ゼズシテ南ニアリコレヲ天離ノ九
成金ト云フ是ノ如クコレヲ釋ストイヘ𪜈數傳ヲ得ザレバ知レガタキヿアルベシ宜ク師ニ就テ數傳ヲ得ベシ
其數都合四十有五トハ坎ノ一坤ノ二震ノ三巽
ノ四中ノ五乾ノ六兌ノ七艮ノ八離ノ九總數相合
テ四十五ナリ從坎乾之北旋兌坤之西水剋ス
火トハ北ヨリ西ニ旋テ濕ハ燥ヲ剋寒ハ埶ヲ剋シ
和カナルハ烈ヲ剋シ浸ハ燒ヲ剋ス水火ヲ剋スノ理
ナリ次第旋於離巽之南火剋ス金トハ西ヨリ
南ニ旋リ燥ハ重ヲ剋スルノ理ニシテ火金ヲ剋ス

ナリ亦復旋テ震艮之東ニ金尅木トハ南ヨリ
東ニ旋リ重ハ芽ヲ尅スルノ理ニシテ金木ヲ尅スナリ
旋テ中木尅土トハ東ヨリ中ニ旋リ芽ハ垢ヲ
尅スノ理ニシテ木土ヲ尅スナリ遂ニ旋北而土尅
水トハ中ヨリ北ニ旋リ垢ハ濕ヲ尅スノ理ニシテ
土水ヲ尅スナリ尅行自右之左故ニ為之逆トハ五行
相尅ノ理ハ逆旋ナリ日月星辰總テ天ノ運旋
皆左ヨリ右ニ如ナリ是レヲ順轉トス今相尅ハ
右ヨリ左ニユキ天ノ旋ニ逆ナリ故ニ逆トイフナリ

半ハ陽調ハ陰即為生成而成十調是焉大數乃
得中位
半トハ大片ナリ奇數ヲイフ是即陽ナリ調トハ和合ナリ
偶數ヲイフ是レ乃チ陰數ナリ故ニ半ハ陽調ハ陰トイフ
即為生成而成十調者一二三四五之ヲ生數ト
イフ六七八九十コレヲ成數トイフ倫數ハ一ヨリ十ニ至ル
ガ故ニ其數五十五是レ五調五ヲ餘ス獨數ハ一ヨリ
九ニ至ルガ故ニ其數四十五是レ四調五ヲ餘ス二ツノ
餘五合テ一調トナル故ニ倫獨相合テ百數ニ満チズシテ

十調ヲ成スナリ是レ此ノ一百ノ大數倫獨過不及
アリトイヘドモ而モ還テ十調ヲ成ス是レ中道ノ數ナリ
故ニ得ル天中位ト云ナリ
一三五七九ハ半而陽數二四六八十ハ調而
陰數ナリ陰ニ五陽ニ五而成十調中道之數ヲ人事ノ
百行其ノ成ル必ス在中道ニ是レ即チ銓道也
是レ聖皇ノ御釋ナリ一三五七九ハ奇數ナリ
故ニ半ニシテ陽ノ數ナリ二四六八十ハ偶數ナリ
故ニ調ニシテ陰ノ數ナリ陰ニ五陽ニ五而成ス十調

中道之數トハ陰數五陽數五ツ倫獨相合テ
十調ヲナス是レ中道ノ天數ナリ人事百行其ノ
成ル必ス在リ中道ニ是レ即チ銓道トハ人間ノ万事ノ
行ヒ過不及アルトキハ則チコレヲ道トセズ故ニ
百行ノ成ルヿ必ス中道ニアリ銓ハ衡ナリ衡ハ
中極ヲ得ルノ譬器ナリ或ハ過或ハ不及ニシテ
又中極アルモノアリ是レ衡ノ義ナリ故ニ異典ニ
云ク君子ノ中庸ハ君子ニシテ時ニ中スト云ヘリ是レ
則チ銓ノ道ナリ

陽行ハ過餘陰行ハ不足ナリ陽ハ是君位陰ハ是レ臣位君
臣成スナリ中ヲ

陽行過餘トハ陽行ハ倫數ニシテ五十五ナリ故ニ過餘ト
云フ陰行ハ不足トハ陰行ハ獨數ナリ是レ四十五ナリ故ニ
不足ト云フ陽ハ是君位陰ハ是レ臣位君臣成中トハ陽ハ
天ナルカユヘニ君位ト云フ陰ハ地ナルカユヘニ臣位ナリ
天地相合シ陰陽交通シテ四海安靜ナリ君臣合
體シ仁義並ヒ行レテ万國正眞ナリ是レ即チ倫獨相合シ
中道ヲナス故ニ君臣成スト中ヲ云フ

水木土ハ陽半生シ之ヲ陰調成ス之ヲ火金ハ陰調生シ
之ヲ陽半成ス之ヲ陽ハ生シ三行ヲ爲ス陽行ト即チ爲タリ君位ニ
陰ハ生シ二行ヲ爲タリ陰行ニ又爲ス臣位ニ其ノ過餘ハ在リ君
位ニ其ノ不足ハ在リ臣位ニ其ノ理ノ當然自ラ中道ナリ是レ即
銓リノ中理ノ道ナリ

是レ聖皇ノ御釋ナリ水ノ一木ノ三土ノ五ハ陽半ニ
シテ生數ナリ故ニ水木土ハ陽半生ス之ヲト云フナリ水ノ
六木ノ八土ノ十ノ陰調是レヲ成スナリ故ニ陰調コレヲ
成ト云フ火金ハ陰調生シ之ヲ陽半成ス之ヲトハ火ノ二

金ノ四ハ陰調ニシテ生數ナリ火七金ノ九ハ陽半ニシテ成數ナリ陽ハ生三行爲陽行即爲君位トハ一二五ノ陽數水木土ノ三行ヲ生ス奇數ナルカ故ニ陽行トス又陽ハ天ニシテ君位ナリ陰ハ生二行爲陰行又爲臣位トハ二四ノ陰數火金ノ二行ヲ生ス偶數ナルカユヘニ陰行ナリ又陰ハ地ニシテ即チ臣ノ位ナリ其過餘在君位其不足在臣位トハ陽ハ三行ヲ生シテ過餘ナルカユヘニ君位ニアリ陰ハ二行ヲ生シテ不足ナルカ故ニ臣位ニアルナリ其理當然自中道トハ君德ハ過餘ナルベク臣位ハ不足ナルヘシ君ハ天ニ則リ臣ハ地ニ則ルガ故ニ皆コレ理ノ當然ニシテ自尓タル中道ナリ是レコノ過餘アリ不足アリテ而モ中道トナル即チ銓ノ中理ノ道ナリ

生過餘是文賞尅不足是武罰

文ト賞トハ空ク過餘アルベシ生理ナルカ故ニ武ト罰トハコレ不足ナルヘシ尅理ナルカ故ニ是レ生ハ多ク尅ハ少キ天然ノ理ナリ又善ハ多カルベク惡ハ少ナカルヘキ理ナリ

生數五十五增五而過餘尅數四十五減
五乃不足上天在道而成雙數然辭中之
邊何也文是常行其敎大道武是時行其
敎霸道賞必篤行不弃小功罰必薄行乃
弃小罪於生不可不過餘於尅不可不不
足故共邊而中也是即理道

是レ聖皇ノ御釋ナリ生數トハ倫數ナリ一ヨリ十ニ
至ル故ニ五十五ナリ五十ハ百ノ中半ニシテ天然ノ
中理ナリ五ヲ增カユヘニ過餘ナリト云尅數トハ
獨數ナリ一ヨリ九ニ至ルカユヘニ四十五ナリ是レ
即チ五ヲ減シテ不足ナリ上天在道トハ天
道ノ大道ハ必ス正道ニシテ邪道ニアラズ故ニ上
天在道ト云フ而成雙數然辭中之邊何也トハ
倫獨ノ雙數ヲナシ過餘ト不足ト相分テ中
數ヲ辟シ邊數ヲ以テスルナリ何ニゾヤトハ
問テ次下ニ答釋シ玉フナリ文是常行其敎
大道トハ治世ハ常恒不變ノ行狀ナリ是ユヘニ
敎ルニ文ヲ以テスルハ人倫ノ常法天地ノ大道ナリ

武ハ是レ時ニ行フ其ノ教霸道ナリトハ乱世ハ時變ノ
行ナリ是ノ故ニ教ルニ武ヲ以テスルハ臨時ノ霸道
世界ノ權道ナリ霸トハ諸侯ノ權ヲ把リ持ツ一時ノ
權道ナリ賞ハ必ス篤ク行テ不弃ニ小功ヲモトハ賞ハ罰ノ
對ナリ功アルヲ賞シ賜フナリ功ニ賜ハ是レ生數
過餘ノ理ナリ故ニ必ス篤ク行テ小功ヲモ弃テザル
ナリ罰ハ必ス薄ク行テ乃チ弃ツ小罪ヲトハ罰ハ罪アルヲ
刑スルナリ是レ尅數不足ノ理ナリ故ニ必ス
薄ク行テ乃チ小罪ヲ弃テコレヲ罰セザルナリ

於ル生ニ不可不過シアル餘トハ文ト常ト賞トハ生數ノ
理ナリ故ニ天數ニ順テ過餘ナラズンバアル
ベカラザルナリ於ル尅ニ不可ラ不不足トハ武ト
時ト罰トハ尅數ノ理ナリ故ニ天數ニ
順テ不足ナラズンバアルヘカラサルナリ
故ニ共ニ邊而中ナリ也トハ過餘ト不足ト共ニ
邊片ニシテ中道ニアラストイヘトモ中道
其ノ中ニアリ蓋シ中ニ定體ナク時ニ随テ
在ルユヘナリ賞ノ過餘罰ノ不足皆是中ナル

ヿ知ルベシ是レ即チ理道ナリトハ天理自然ノ道ニ
シテ上天ノ道ニアル所以ナリ故ニコレヲ理道ト
云フナリ
過餘ハ不足ト成ル百ト百數盈テ中道成ル
倫數五十五ノ過餘ト獨數四十五ノ不足ト兩
數相合テ百數トナルナリ百數ハ天地ノ全數ナリ
數百ニ滿ルトキハ中道コヽニ成就スルナリ
五十有五雖モ爲スト過餘得テ爲ス四十五則チ成ル百
調四十有五雖モ爲スト不足得テ爲ス五十五則成ル

百調中位茲ニ成ル是レ即チ理中ノ銓道
是レ聖皇ノ御釋ナリ倫數ハ獨數ヲ得テ百調ト
ナリ獨數ハ倫數ヲ得テ百調トナル過餘ト不足
ト相合スルトキハ則チ中位コヽニ成就スルナリ是レ
邊中ノ中ニシテ理中ノ銓道ナリ銓ハ銓衡
ナリ輕重ニ依テ中ヲ得ルコレヲ銓道トユフ
天數ハ百調自然中位而分生ト魁則成ス偏邊中ノ
中ニ有リ變君子ハ愼ム己ヲ愼テ爲ス道ヲ哉
上天ノ數ハ百調ニシテ是レ自尓タル天然ノ中道ナリ

然ルニ倫數ハ五十五獨數ハ四十五ニシテ生ト尅トヲ
分ツナリ天數ノ百調コレヲ中半ニスルトキハ則五十ナリ
而ルニ今生ノ過餘ト尅ノ不足トアツテ偏邊ヲナス
是レ中ノ中ノ邊アルナリ又是レ自然ノ理ニシテ世
間ノ万事人倫ノ日用コレナキヿ能ハザルナリ
故ニ君子ハ己ヲ慎ム慎テ過餘ノ中ニ中アリ不足ノ
中ニ中アルヿヲ詮テ中道ヲ為ナリ
上天元有數雙五十而非偏邊生尅成則
成偏邊人事元有行位五常乃非偏頗成
敗成則成偏頗是所以中中有邊也小人ハ
取テ中道尋テ為中道乍成邊邪君子ハ得テ中道ヲ
更ニ作顧慎還堅中正是即慎ノ道ナリ
是レ聖皇ノ御釋ナリ上天トハ四天常恒ノ天ナリ
元有數雙五十而非偏邊トハ五形ノ永存ハ
曽テ生滅アルヿナシ是レヲ元數ト云フ十ハ成數ナリ
五成テ五十ヲ雙ブトキハ則チ偏頗ナシコレ天然ノ
中道ナリ 天照太神産誕ノ時五色五十ノ鈴去來冊尊ノ膝ノ上ニ降リ下ル瑞鈴ノ降ル國ナルユヘニ此中ツ國ヲ
名テ五十鈴ノ國ト云テ其ノ五十ノ義ハ
五形ノ元理ニシテ天ノ中道ノ理ナリ 五行自ラ生尅ト

アリ生尅アルトキハ則チ偏邊ヲナス故ニ生尅成則
成ス偏邊ト云フナリ人事元有行位五常乃非
偏頗トハ人間ノ万事元百行アリ百行五常
ニ位スルトキハ則チ偏頗ナキナリ成敗成則成偏
頗是所以中ノ中ニ有邊也トハ若シ敗成ヲナストキハ
又偏頗アリ偏頗ヲナスノ中ニ自ラ中道アルカユヘニ
中ノ中ニ邊アリト云フ然レトモ邊中ニ君子ノ中道アリ
小人ハ取中道尋ヲ爲ニ中道乍ニ成邊邪トハ小人ノ
中道ヲ行フハ執之害ヲ生ヿアリ取ト云フハ執著シテ

偏屈ナルヲ云フ偏屈ニシテ時變ヲ知ラザルトキハ中道
ヲナシテ乍ニ邊邪トナルナリ或ハ中ヲ執テ乍ニ邊
トナリ或ハ己ニ依テ仁義ヲナスハ譬ハ田ノ爲ニ澤ヲ
儲ケ澤田ヲ流シ病ヲ療ノ醫ヲ服シ醫病ヲ益
ナリ御語ニ曰ク昔シ王者アリ仁ト云テ一二ノ臣ヲ
愛シ慍恨モノ數百人アリ義ト称ノ宮舎ヲ嚴ルヿヲ
羞兆庶ミナ貪ノ窮困シ遂ニ賊ノタメニ弑セラル是レ
己ガ小發ニ偏ニシテ天ノ太應ヲ失フ所以ニナリ夫レ
仁ニ非仁アリ義ニ非義アリ禮ニ非禮アリ智ニ非智

アリ理アラス時ナラザルモノ是レナリ非仁ノ仁ハ蜜ヲ
以テ鱠ヲ作ルカ如シ非義ノ義ハ酢ヲ以テ飯ヲ
爨ガ若シ非禮ノ禮ハ糊ヲ以テ綿ヲ節ガコトシ
非智ノ智ハ油ヲ以テ衣ヲ洗フガゴトシコレヲ為ザランニハ
シカズトスリ是レ道ヲ取テ邪ヲナスナリ君子得ニ
中道ヲ更ニ作シ顧慎還テ堅中正ヲ是レ即慎ノ道トハ君子ハ
擇テ中庸ノ行ヒ以テ時ニ中ス中道ヲ得ル
ナリ然モ是ノ如シトイヘドモ猶更ニ拳顧シ謹慎シテ
以テ其ノ中正ヲ堅固ニスルナリ是故ニ君子中庸ヲ

擇トイヘドモ無為ト中道ト仁義ト學習トノ四軌ヲ
以テ己レヲ慎ム是レ慎ノ要ナリ無為ニ住シテ
仁義ノ毒ヲ解キ中道ニアツテ學者ノ偏修ヲ撃チ
仁義ニ居テ以テ無為ノ毒ヲ解キ學習ニ處テ更ニ
日時ノ私ヲ遮ル無為ノ根ハ中道ノ本ニ立チ仁義ノ
枝ニ立チ學習ノ標ニ立ツ本末ヲ立テ一ニ致テ道樹
成リ德菓生シテ枯断ナキナリ是レ亦慎ノ要
道ナリ

生魁之邊位也生ハ善位魁ハ惡ノ位ナリ故ニ邊位ニシテ而空シ

是レ邊中ニ有リ中、君子ハ慮ル他ヲ、慮テ爲ス道ヲ哉、
生數過餘、尅數ノ不足コレヲ邊位トイフ、生トハ生成
長育ノ義、コレヲ善ノ位トイフ、尅トハ尅殺刑沒ノ義、
コレヲ惡ノ位トイフ、故ニ邊位テ而宜シトハ善ハ過餘ニシテ
吉好ナリ、惡ハ不足ニシテ宜好コレ邊中ノ中ナリ、
君子ハ慮ル他ヲトハ、先皇民俗ヲ觀察シテ、政教ヲ設ケ
ナシテノ如モシ奢ルトキハ則チコレヲ約ニスルニ儉ヲ以テシ、
儉ナルトキハ則チコレニ示ニ禮ヲ以テスルカ如キコレナリ、
思慮觀察シテ以テ道ニ至ラシムルナリ、コレヲ慮テ

爲ス道ヲトイフナリ、
生數ハ過餘、尅數ハ不足、生ハ爲ス過餘ヲ、雖非ト理ニ無シ
害、尅ノ爲ス過餘ヲ、設ヒ爲ト理有害、故ニ天配ノ兩道ニ立ツ、
宜ヲ可キ慮ル、小人ノ失テ道ヲ、僉ナ偏又非ス、無ニ功、是レ邊中ニ
有ル中所由也、君子慮觀シテ不ル惡ニ偏罪ヲ、是レ即慮
道、
是レ聖皇ノ御釋ナリ、生數ハ倫數ニシテ過餘ナリ、
尅數ハ獨數ニシテ不足ナリ、コレ天然ノ理ナリ、生ハ
善位ナリ、故ニ過餘ヲナスコト理ニアラストイヘトモ、

損害スル所ナシ、尅ハ悪位ナリ、故ニ過餘ヲナスト
キハ、タトヒ理タリト云フモ還テ損害スルヿ多シ、
是ノ故ニ善ハ過餘ナルベク、悪ハ不足ナルベシ、是レ
邊中ノ中ナリ、故ニ配ニ兩道ヲ立テ宜ヲ可慮ト、上天百
調ヲ生尅ノ兩道ニ配シテ邊ニシテ其宜ヲ立ツ、
是ノ故ニ善ハ多カルベク悪ハ少カルベキノ元理ヲ
見テ万事ニ於テ恐慮精察スベキナリ、小人夫
道ノ僉偏ナル又非無功ト、小人ハ罪ヲ免シテ天罰
王刑アルトキハ則チ人理ノ必然ヲ恐レテ、

徳ニ歸スルナリ、是レ小人ノ功ナリ、是レヲ非無功
ト云フナリ、是レ又邊偏ノ中ニ自ラ中道アル所以
ナリ、是ノ故君子ハ思慮觀察シテ叨ニ偏邊ノ
罪咎ヲ悪マザルナリ、是レコレヲ慮道ト云フ

這道畢竟在於銓理、銓理之極在心天也

這道トハ生尅ノ過餘不足ノ天道ナリ、畢竟トハ
至極ノ義ナリ、在於銓理トハ銓衡ノ量ヲ度リ其
正當ヲ見ルカ如シ、銓ノ理コレヲ作ハ心ナリ、中ヲ得ル
其理ハ元コレ天ノ理ノ極ナリ、故ニ極ハ心天ニアリ

トヱフナリ
銓得中極之譬器也非銓何以得輕重多
少中真正當極乎事衆是竹葦無不具過
少中其兩邊必有悔得中位者若度銓量
觀察其正當是以立銓道也理得然限之
法的也未度其偏其位又弗抱其數其分
唯依理之宜然而成乎道是以立理道也
銓道理道作之者心又得之者心其作其
得在道是名心天

是レ聖皇ノ御釋ナリ銓得中極之譬器也トハ
銓ヲ以テ中極ヲ得ルノ譬ヘトスルナリ故ニ譬器ト
云フ非銓何以得輕重多少中真正當極乎
トハ此ノ銓ノ義ヲ以テセズンバ何ヲ以テ中真ノ
極ヲ知ルヘキヤ故ニ銓ヲ説テ人ヲ敎ヘ玉フナリ
事衆是竹葦無不具過少中トハ竹葦ハ事ノ多ニ
諭フ世ノ過不及中ヲ具ヘストヱフ事ナキナリ其兩
邊必有悔トハ事ニ端アリ中アリ其兩端ヲ用ル
トキハ必ス悔吝アルナリ得中位者若度銓量觀

察シ其ノ正當是ヲ以テ立ツ銓道ヲ也トハ、其ノ中道ヲ行フハ、
銓ノ道ノ如ク、時ニ中シテ、宜ヲ得、其ノ正當ノ中
眞ヲ觀察シテ用ユベシ、コノ故ニ、銓ノ道ヲ立テ
敎ヘ玉フナリ、理ハ得ルノ然ニ限之ヲ法的也ナリトハ、理ト
云フモノハ、當然ノ道理アルノ、其ノ限リ極ルノ
法的ナリ、理ヲ云フトキハ、過不及中ノ位ヲ論ゼザル
時アリ、故ニ未度其ノ偏其ノ位ヲ、又弗抱ハ其ノ數其ノ分ニト
云フナリ、理ノ當然ヲ云フトキハ、銓道ヲ言ハザルヿ
アリ、故ニ唯依テ理ノ之宜然ニ、而成ス乎道ヲト云フ、

是以テ立ツ理道ヲ也トハ、是ノ故ニ銓道ノミニアラス、又理
道ヲ立テ、敎ヘ玉フナリ、銓道理道、作ス之ヲ者ハ心ナリ、又
得ル之ヲ者ハ心ナリ、其ノ作其ノ得、在ル道ニ、是ヲ名ク心天トハ、銓
道ヲ用ユヘキトキハ銓道ヲ用ヒ、理道ヲ用ユヘキトキ
ハ理道ヲ行フ、其ノ用否ヲ知テ、コレヲ作モノハ心ナリ、
又銓ト理トノ極ヲ、識得スルモ心ナリ、其ノ作用ユル
モ其ノ識得スルモ、天道ノ如ク、毛私モナク毫亂モナキ、
コレヲ心天ト名クルナリ、天道ハ、私ナク我ナク、道ノ
マヽニ行フユヘニ、銓モ理モ道ナリト知ルヘシ、

心天取中道而慎中有邊並處邊有中也道
在於茲
心天ハ元中正ナリ是故ニ中ニ邊アリ邊ニ中アルヿヲ
慎ミ慮リテ以テ銓道ト理道トヲ察シテ天ノ如ク行フ
トキハ道其中ニアルナリ蓋シ心ト天ト元一ツナリ天ト神ト
元一ツナリ心即チ天ナリ天即チ神ナリ是ノ故ニ
實ノ如ク自心ヲ知リ心ノ如ク天ノ如ク神ノ如ク日用ヲ
行フトキハ則天地ト徳ヲ同クシ明ヲ日月ト等クシ序ヲ
四時ト齊クシ吉凶ヲ鬼神ト共ニスルヿ是レ即天照
皇太神ノ論ニシテ吾國ノ神道ナリ是故此經ハ心ノ
一ツヲ以テ左リ右ニ説キ自心ノ體ヲ徹見シ又其用ヲ
以テ詳ニスルヿヲ宣玉フ是故ニ始ニ一心ヲ説キ茲ニ至ノ
心天ト云フヿヲ以テ其説ヲ終フ學者精審玩味シ誠
敬尊信シテ慎テ忽ニスヘカラサルモノカ
中道不免有偏邊則終身不能許中不能
許得豈不為道乎偏邊不失有中道則盡
壽不能慢凡不能拌愚焉不為智乎銓道
理道正立而中道存矣慎道處道從立而

中道全シ矣。道在ル於茲ニ而已。
是レ聖皇ノ御釋ナリ。中道不免有偏邊則終
身不能許中トハ、中ノ中ニ偏邊ノ理アリ、コレヲ
察シ慎ミ慮ラザレバ、中ヲ行テ偏トナルコトアリ。
是ノ故ニ銓道ヲ以テ、コレヲ慮リ、終身慎テ中ヲ
許スコト能ハザルナリ。不能許得豈不為道乎トハ、
是ノ如ク中ノ中ニ偏アリ、偏ノ中ニ中アルカユヘニ、中
道ヲ行ヒ得タリト許シカタシ。是レ此ノ謹慎恐慮ス
ルコト、豈コレヲ道トセザランヤ。偏邊ニ不失有中道

則盡壽不能慢凡不能拌愚焉不為智乎
トハ、偏ノ裏ニ中アリ、是ノ故ニ中ハ容易知ルヘカラス、
凡者ノ偏邊モ慢リガタシ、愚者ノ僻情モ拌ガタシ、
盡壽ノ慎ミ、只中道ニアリ、古人ノ戦兢シテ、
其ノ身ヲ保ツ、尚コレヲ道トス、況ンヤ他ヲ慮テ中ヲ執ル
コレ焉ニゾ智トセザランヤ。終身盡壽恐懼シ戒謹
スルコトコヽニアリ、銓道理道正ク立テ而中道存ス矣トハ、
銓道ヲ以テスヘキトキハ、銓道ヲ以テ中トシ、理道ヲ
以テスヘキトキハ、理道ヲ以テ中トス。是ノ故ニ銓ト

理ト正ノ立テ中道コヽニ存スルナリ慎道慮
道従ヒ立テ而中道全シ矣トハ銓道ニ慎ミアリ
理道ニ慮リアリ慎ト慮ト従ヒ立テ中道實ニ
全キナリ道在於茲而已トハ天道ノ中道コレ
茲中(コノウチ)ニアル而已而已トハ盡テ餘リナキナリ此ノ
章ハ天数ニ依テ中道ヲ教ヘ銓理ヲ示シ玉フ
大聖ノ丁寧告戒ヲ知ルベシ御語ニ曰天性ハ道ナリ
中ヲ以テ體トス經ト正ト誠ト善トノ用ヲ具フ體用
元一ツニシテ又コレ體ナリ仁義禮智信ノ用ヲ具フ

所以者何ナレバ中ハ即チ正正ハ即チ誠ナリ誠ハ
即チ善ナリ善ハ即チ經ナリ是ノ故ニ中ト經ト
正ト誠ト善ト一ニ融シテ二ニ非ス其ノ用ハコレ仁義
禮智信ナリ二隔ニシテ一ニ非ス體用常ニ離レス
故ニ道以テ毎行(コト〳〵ク)ニ在前(ツネニアリス)ルヲコレヲ名テ聖賢トシ
コレヲ云テ禮極トス纔(ワツカ)モ道ヲ離ルヽトキハ則チ
喜怒憂思恐ノ偏情放逸ニシテ忠貞ヲ拋(ナゲウ)ツ
タヽく仁義ヲナセトモ皆偏ノミナリコレヲ名テ凡
俗トシコレヲ云テ非禮トスルナリ君子ノ喜怒ハ

喜怒ヲ行テ喜怒ニアラス是仁義ノミ是レ偏中ノ中ナリ
凡者ノ仁義ハ仁義ヲ行テ仁義ニアラス是レ喜
怒ノミ是レ中ノ中ノ偏ナリ其替代理ト禮トニアリ理ヲ以テ
由ヲ衷シ禮ヲ以テ分ヲ節ニス然ヘキヲ以テスル
トキハ是トシ然ラサルヲ以テスルトキハ非トス夫レ慈ト
悲ト敬ト讓ト施ト撫ト進ト倹トヲ善トシ憎ト怒ト
慢ト押ト奪ト殺ト緩ト驕トヲ悪トス天下古今ノ
常ナリ然ルニ此ノ善ノ悪トナリ其ノ悪ノ善ト
ナルユヘハ即チ茲ニアリ禮ハ理ヲ以テ體トス理

ヲ離ヽトキハ禮ナシ是レヲ法元ノ一ト名ク仁義ハ
中道ヲ具テ道トスコレヲ離ルヽトキハ道ニアラス是レヲ
道元ノ一ト名ク法ト道トノ状ニツニシテ元一ツナリ
是レヲ元元ノ一ト名ク未タ箇ノ一ヲ得ザルトキハ
則チ行修迷テ難シ既ニコレヲ得ルトキハ則チ行修
覺テ易シトナリ
先皇三年殯宮ニイリ天下ヲ抛テ出玉ハス先皇
三年調貢ヲ赦シ課役ヲステヽ貧居シ玉フ人コレヲ
大過トイフ大仁ノ中ニ大過ナシ其中即チ天ニアリ

元元ノ一能コレシ理ム是レ偏中ノ中道ナリ
人間ノ一日百事ニ過ク小大相交テ無為ナルヿ
能ハス其事ニナ大過アリ不及アリ中道其間ニ隠ル
其暗キヿ晦夜ノ如シ大過セザラント欲スルトキハ不
及ニ止リ不及ナラザラント欲トキハ大過ニユク法元ノ一
コレシ理ム仁者ノ仁シ行フ恒ニ大過ニ泥ミ義者ノ
仁シ行フ恒ニ不及ニ悔道元ノ一コレシ理ム

鳴鶴鈔附録十終

神敎經大尾

補鈔沼田侯鳴鶴鈔附錄跋

沼田老相公直邦號瓊山先生嘗著述
大經之中神代本紀陰陽本紀黄泉本
紀之鈔是名鳴鶴鈔都合二十巻也尋
編宗德經神敎經之鈔為之鳴鶴鈔附
錄焉在中孚之九二鳴鶴在陰其子和
之言孚乃化邦信及豚魚也相公以之
故常語曰人以孚為性根道以信為能
入蓋相公所撰之心不同叨陳空言以

徹利達者也王事靡盬官務孔繁自非
尊信此大道敬崇吾神傳授三部之
頤鉤乎五鎮之淡至乎至信自知通徹
而有所得豈弄筆乎噫嘻淡志厚情不
堪於感敬慨嘆之至者也此大經也本
邦之靈教神天之玅諭也豎總三元横
攝六合神奇皇正無不載聖示賢訓無
有餘也豎說無爲之寥莫叩竭極妙之
源底虛玄靈法夫厥爲狀根枝葉菓道

諸含藏絕絕有似焉演道基虛虛熟熟
伊見底心覺了則入道之玄極信受則
爲世之津梁至誠至敬知邇面之教克
信克行有轉質之功眞冥幽玄之妙面
現細芥之微總宇宙今精毫先而磬在
此書也得生於神國者誰可不信崇之
矣臻附錄第八相公染疾自知盡天命
石予於病床遺言謂附錄未竣請繼志
鈔之補不足而貽後昆焉又曰吾有子

日本政府圖書

今幼也、迨長乃傳乎茲、神傳焉嗚呼夫道在誠信哉矣、避其近侍遺意心切唯使大森親誠白井順應二臣居而聞之、臨此秋難固辭不顧不似諾乎遺命也、易簣之告詞不異乎平日於其終焉其言也善可知庸言之信庸行之謹所謂閑邪存其誠善世而不伐也至若祭神必如法交人恒以謙可謂進德脩業者也、吁可諠之乎天旋迅速而既經三秌焉爰神教經中從一寶第六已下鈔之為二卷以遂奉命予禀性至愚奚得解神經聖疏之玄只記其大概而竟附錄耳見人恕之矣維時

元文二星纒丁巳冬十月十日

依田貞鎮謹誌

国立公文書館
National Archives of Japan

大日本帝國圖書印

国立公文書館
National Archives of Japan